

逸見・中央地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのよりよい教育環境のために～

Vol. 6 発行 横須賀市教育委員会 2026.8

令和8年7月23日(木)に開催した第6回の協議会において、逸見・中央地域の教育環境整備について事務局から次のような説明をし、出席委員で協議を行いましたので、その内容をお知らせします。

1 子ども達の学びについて

前回(第5回)は、「隣接校との統合」による方策案ごとの効果や課題を整理しました。

その中で、委員より「子ども達の学び」に焦点を当てた議論についての提案がありました。

今回の協議会では、これまで課題として挙げた統合後の通学手段や、通学区域の見直しといった、「外の目」の議論から視点を切り替え、学校現場や保護者の側から子ども達の学びを見つめる「内の目」を主軸に据えた議論を行いました。

学校規模が大きくなることで考えられる子どもたちの学びの変化(資料より抜粋)

期待できること

- ・集団の中で切磋琢磨することで資質を伸ばすことができる。
- ・多様な学習や指導形態が可能となる。
- ・行事や委員会活動などの活動規模や活動種類が広がる。
- ・教職員数が確保できるため、バランスのとれた教職員配置を行いやすい。

不安となること

- ・小規模校よりも一人ひとりに目が届きにくくなり、きめ細かい指導が難しくなる可能性がある。
- ・クラス替え等によって新しい環境に慣れるまでの不安感がある。
- ・大きな人数での生活に馴染めない場合がある。
- ・施設や設備の利用時間等(体育館や特別教室等)の調整が行いにくくなる。

委員の意見

小規模校の運動会では、障害物競走の運営に必要な高学年の子が足りず、種目を徒競走に変更せざるを得なかったり、競技を行う子どもが自ら準備・片付けをしたりして、なんとか運営している。

1小1中の形になれば、小中一貫教育としての教員の乗り入れ授業や日常的交流の可能性も広がる。

現状の少人数教育に大きな不満はないが、物理的・安全的な制約を考えれば、これまでの価値観を捨ててでも、子どもにとって最良の選択を優先すべき時期に来ている。

逸見小と沢山小の統合では、教育環境は改善されないと思う。児童数は増えても全学年1学級のままで、6年間同じメンバーという環境は変わらない。また、教員1人あたりの担当児童数が倍増し、きめ細かな指導が困難になる。

クラス替えができない環境では、人間関係の固定化を招き、自分をリセットする機会が失われている。

喧嘩、仲直り、相手への心遣いといった経験を通じて人間関係を築く力は、将来社会に出るために不可欠であり、適切な集団規模の中でこそ養われる。

小規模校出身の子は、大規模校出身の子に比べて社会的な幼さが残っているように感じられることがある。

多様な考えに触れ、関わり合いの中で学びを深めるには一定の規模が必要。

固定されたメンバーでは対話の広がりに限界がある。

大人が責任を持って、より広い世界で切磋琢磨できる環境へ導くべき。

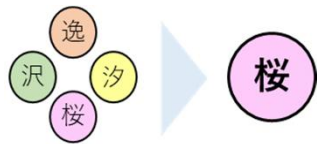
小規模校から中学校へ進学した子は、トラブル解決や新しい環境への挑戦に臆病な傾向がある。試行錯誤しながらたくましく生きる力をつけるには、クラス替えが可能な規模が望ましい。

2. 第5回協議会を踏まえた方策案ごとの整理

前回(第5回)の協議会で議論された内容を踏まえ、教育環境整備の方策案について整理しました。

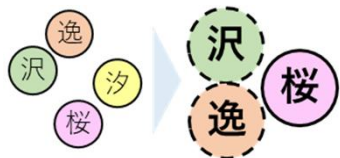
逸見・中央地域の教育環境整備に係る方策案(資料より抜粋)

【方策案1】逸見小、沢山小、汐入小学校区を桜小学校区に統合



4校を統合する方策では、児童数・学級数の増加による教育活動への効果が大きい。
一方で、通学の安全性に課題が生じるため、スクールバスや見守りを含めた安全対策や、通学区域の見直しなどの方策を講じる必要がある。

【方策案2】逸見小学校区と沢山小学校区をいずれかの小学校区に、汐入小学校区を桜小学校区に統合



2校ずつの統合による児童数・学級数の増加や、教育活動への効果は限定的である。
また、両校の基本的な情報の比較では、逸見小の方が校舎が数年古いことや、敷地が狭いことなどの差があるが、いずれも学校運営に関して決定的な事項ではないため、統合後には逸見小・沢山小どちらの学校を使うことも考えられる。
仮に2校ずつの統合を実施した場合でも、近い将来に両校とも再び教育環境整備の検討対象となる可能性がある。

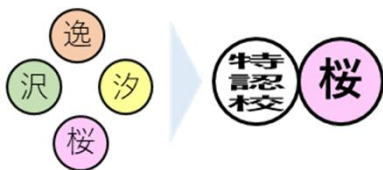
【方策案3】逸見小学校区を長浦小学校区、沢山小、汐入小学校区を桜小学校区に統合



統合による児童数・学級数の増加や、教育活動への効果が期待できる。
通学距離は2km未満となるものの、安全性に課題が生じるため、【方策案1】同様、安全対策や通学区域の見直しを講じる必要がある。
また、逸見小学校区を長浦小学校区とすることで通学距離が長くなる一部の地域については、進学先の中学校も含めて、通学区域の弾力化などの検討が必要となる。

通学路視察の結果は右ページ(P.3)をご覧ください。

【方策案4】逸見小、沢山小、汐入小のいずれかを小規模特別認定校とし、残りの小学校区を桜小学校区に統合



少人数教育を希望する児童は、小規模校の特長を活かした学びによる恩恵を受けることができる。
一方で、当該学区に在住の児童は希望しなくても小規模特別認定校に通わなくてはならないことや、全市から応募を受け付けることで、他の学校の小規模化に拍車をかけてしまうなどの課題が考えられる。
また、特別認定校としない学校の統合にあたって、通学の課題などを解消し、教育環境を整備する方策を検討しなくてはならない。

※いずれの方策案についても、必要に応じて通学区域の見直しをあわせて検討することとしています。

委員の意見

- ・汐入地域の学区分断を解消してほしい。現在桜小学区となっている一部地域を汐入小に戻すべきだと思う。
- ・不登校対策を兼ねた小規模特別認定校を設置するなど、他自治体の事例を参考にしながら柔軟に検討してほしい。
- ・広く住民の意見を聞くためのシンポジウムを開催すべきだと思う。地域住民や若い世代の声を聞く場も作ってほしい。
- ・通学の安全確保においてはスクールバスが最も有効な解決策だと思う。

通学路視察 結果の概要(方策案3)

【方策案3】で逸見小学校区から長浦小学校へ通学することとなった際に想定される通学路の視察を実施し、その結果について議論しました。

【日時】
令和8年7月14日(火)

【参加者】
委員6名、事務局4名 計10名

【経路】
現在、逸見小学校区から長浦小へ通学している児童の通学経路(長浦小より聞き取り)

- ①逸見小 → 防災トンネル → 長浦小(約1.6km)
- ②長浦小 → 国道16号線 → 逸見小(約1.1km)



- ・逸見小学区から長浦小への通学路は、身体的・心理的負担が大きい。夏の暑さや坂道に加え、国道16号線のトンネルは暗く狭いため、低学年児童が一人で歩くには抵抗感がある。
- ・逸見から坂本トンネルを通過して桜小へ通うルートよりは、長浦小ルートの方が環境の良い面もある。
- ・坂本トンネルの暗くジメジメした環境を思えば、防災トンネル経由のルートは広く安全対策も講じやすい。大人が知恵を絞って安全を確保すべきである。

3 教育委員会に届いている意見の概要

前回の協議会開催(令和8年5月28日)以降、以下のとおり2件の意見が届いています。

4校の統合について、子どもたちは同年代の子どもに囲まれた状況を望んでおり、個人的には賛成する。しかし、通学における安全面に不安があり、後押しできない。
沢山小の学区からは地区によって通学路が変わると思うが、教育委員会はどのように考えているのか。
また、桜小までの通学路を体験する課外授業や、桜小の授業体験を通じて、実際の危険箇所の把握と統合のメリットを子どもたちに経験させることは価値があると思う。各小学校の協力のもと、実施すると良いと思う。

統合には賛成だが、逸見小学区を桜小学校区へ統合する案には賛成できない。
桜小学校への通学路の安全性や児童の負担を考えると、吉倉・西逸見町は長浦小学校区への統合が望ましい。
中学校区との兼ね合いが課題であれば、柔軟な見直しも検討してほしい。また、以前から坂本中ではなく田浦中を選択する例は多くあった。
行政が把握している以上に学区外へ就学を希望する家庭が多く存在する可能性がある。
子どもたちにとって安全で負担の少ない通学環境となるよう、検討してほしい。

4 次回の開催について

《第7回逸見・中央地域小中学校教育環境整備検討協議会》
日時: 令和8年9月4日(金) 18時30分～(2時間程度)
場所: 横須賀市生涯学習センター(まなびかん)2階市民ホール

これまでの会議資料・会議録について

横須賀市のホームページで会議名を検索していただくか、以下の二次元コードよりアクセスいただけます。

逸見・中央地域
小中学校教育環境整備検討協議会



<協議会ニュースのバックナンバーはこちら>

横須賀市立小中学校
適正配置審議会



～皆さまからのご意見等を受け付けています～

ご意見等がありましたら、郵送・ファクス・Eメールにてお願いいたします。

事務局(お問い合わせ先)

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育環境整備課

電話 046-822-6802 ファクス 046-822-6849

Eメール efm-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp



YOKOSUKA CITY
SINCE 1907



横須賀が好き!

※いただいたご意見、ご質問については、「efm-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp」から回答の返信をいたします。

セキュリティ設定や迷惑メール対策等で、メールが正しく届かないことがありますので、ドメイン「@city.yokosuka.kanagawa.jp」のメールを受信できるよう、迷惑メール設定から解除、もしくは受信設定をしていただくようお願いいたします。